



各位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム  
代表者名 代表取締役社長 藤井由実子  
(コード番号：3814 東証グロース)  
問合わせ先 常務執行役員 菊本健司  
電話番号 0836-39-5151  
U R L <https://www.afs.co.jp/>

## 特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）個別決算において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

また、2022年5月12日に公表いたしました2022年9月期の通期業績予想を下記のとおり、修正することといたしましたので併せてお知らせいたします。なお、先行して2022年10月28日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」の売上高の修正値から変更はありません。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

当社は、当社のソフトウェア等について、当初計画に対して将来の収益見込み等を保守的に勘案した結果、「固定資産の減損会計に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、特別損失（減損損失）38百万円を計上する見込みとなりました。

#### 2. 業績予想の修正について

##### (1) 2022年9月期通期個別業績予想数値の修正（2021年10月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2022年5月12日発表予想(A)	百万円 2,020	百万円 144	百万円 99	百万円 82	円 銭 29.59
2022年10月28日発表予想	1,336	—	—	—	—
今回発表予想(B)	1,336	△456	△494	△539	△188.76
増減額(B-A)	△683	△600	△593	△621	
増減率(%)	△33.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	1,573	△178	△264	△272	△105.94

##### (2) 修正の理由について

2022年10月28日公表しましたとおり、当社の主要顧客である外食企業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経営状況が続いております。当社の営業活動もコロナ禍の影響を受け、営業利益は前回予想比△600百万円の△456百万円、経常利益は、前回予想比△593百万円の△494百万円を予想しております。また、ソフトウェアについて特別損失（減損損失38百万円）を計上したことにより、前回予想を

下回る当期純損失 539 百万円を見込んでおり、2022 年 5 月 12 日に公表いたしました通期の個別業績予想値を修正することといたしました。

売上減少の理由は、全ての周辺機器の制御機器にあたる POS システム機器「FOOD α 4000」の半導体不足による度重なる当社への納品遅延により、POS システム機器「FOOD α 4000」および連携するテイクアウト自動精算機「テイクショット」などの周辺機器も顧客への納品が 2022 年 9 月期において実施できなかったため、当該製品の売上計上が遅れる見込みとなりました。これらの売上減少とコロナ禍による月額収入の値引きや円安による仕入原価の高騰、在庫評価減として 192 百万円を計上したことにより、減収減益となりました。

さらに、コロナ禍においても受注が好調な、配膳・除菌 A I ロボットの発注及び納品についても同様に、上海のロックダウンによる、ハードウェア仕様変更と輸送の大幅な遅れ、半導体不足などの影響もあり、当該ロボット製品販売の在庫確保が進まず、売上計上が大幅に遅れたことにより、売上高が、大幅に予想を下回る見込みとなりました。

なお、2023 年 9 月期につきましては、当社 POS システム「FOOD α 4000」POS システム機器は 2022 年 11 月頃から当社への入荷が始まる予定ですが、現在ご注文をいただいている台数は、当社入荷台数より上回っているため、今後の更なる有事の対応を考慮し、どこからでも調達出来る Windows P C においても「FOOD α 4000」POS システム機器と同等の機能を備えられるソフトウェア対応をした、「FOOD α 4100」（「FOOD α 4100 の発売開始のお知らせ」2022 年 10 月 19 日リリース）を発売開始いたしました。

また、コロナ禍においても売上／粗利が確保できる、配膳・除菌 A I ロボットや除菌ゲート（ウィルスゲート・ショット）につきましては、2022 年 8 月から納品されており回復基調にあります。外食業界以外の工場やドラッグストア、学習塾チェーンなどからの受注・引き合いが伸びていることから、外食業界以外への販売網拡大および調達方法・生産体制の見直しなどによる製品確保の改善の推進をより一層強化することで、収益力の増加に努めてまいります。

上記の業績予想は、本資料発表現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

また、今後も業績の推移に応じて修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

以 上